

## 成果

- 課題解決に向けて2つのグループ活動を行い、主体的、対話的で深い学びにつながる学習指導を行うことができた。一つ目は「ワールドカフェ方式」である。グループごとにみそ汁の実を考え、その考えを持ち寄り、他のグループとみそ汁案を検討し、感想や評価を交流した。ここでは、持っている知識や考えを活用することで他者と対話が生まれ、みそ汁の実の組合せの多角的で新たな視点を得ることができた。その後、自分のグループに戻り考えの再構築をすることで、さらに改善することができた。二つ目は「ポスターセッション」である。各グループの改善案を相互評価した。他のグループの考えを聞き、よりよい工夫がある班に名前付き付箋で一票を投じた。票数が多いところに改善で変容したところを全体交流して広めることができた。
- 栄養教諭とのチーム・ティーチングにより、専門性を活かして児童の思考を広げたり深めたりすることができた。本時だけでなく、題材を通して継続して指導することで、児童の意欲向上、知識の定着など学びの成果を上げることができた。
- 題材を通して、学校給食を生きた教材として取り扱い、給食献立を調べる活動を通して五大栄養素の働きや3つの食品のグループとそのはたらきについて学習することができた。また、総合的な学習の時間と関連して、本時ではみそ汁の実の組合せに栄養バランスと白山市の特産物を取り入れて考えることで家庭の実践につなげることができた。このようにして児童の実態や地域の特色を活かしながら、教材を開発し題材構成を考え授業を展開することができた。

## 課題

- 1時間の活動内容がとて多くなり時間が足りなかった。そのため、授業の前に活動を始めることとなった。ふり返りの時間までしっかりと確保するために、どの活動を精選するか考える必要がある。